都道府県	選挙区	候補者名	政党	即時原発ゼロ、自然エネルギー100%に参は○否は×	原発ゼロを目指す（即時とは限らず）	即時ゼロにすべきである	即時ゼロは現実的ではないので期限をきってゼロに向け	新設も再稼働も認めずゼロを目指す	新設は認めないが住民が賛同すれば再稼働は認める	再生エネルギーを推進するが代替エネルギーとして見通しがた	再生エネルギーを推進しつつもゼロにすることを優先的に行う	コメント
京都	1	毅田恵二	共産	○	○	○						原発再稼働反対です。福島原発事故の原因究明もされておらず過酷事故の再発の可能性がある。再生可能エネルギーを基幹的エネルギーにすべき
京都	1	嶋村聖子	希望	送付不可								
京都	2	地坂拓晃	共産	○	○	○						
京都	2	繁本護	自民									
京都	2	前原誠司	無所属									
京都	3	泉健太	希望									
京都	3	金森亨	共産	○	○	○						安倍政権は反対の世論を無視し、原発再稼働への暴走を続けている。「稼働原発ゼロ」の体験を通じ、原発なしの社会は可能と証明された。「原発ゼロ」の決断のとともに再生可能エネルギーの飛躍的普及をはかる。
京都	3	森夏枝	維新									
京都	3	**木村弥生**	自民	×	×							
京都	3	小田切新一郎	無所属	送付不可								
京都	4	吉田幸一	共産	○	○	○						どの世論調査でも再稼働反対は多数派です。この2年間稼働原発ゼロを経験しました。ゼロでも十分やれます。したがって再稼働は必要ありません。再稼働すれば「核のゴミ」問題をさらに深刻化するだけです。
京都	4	北神圭郎	希望									
京都	4	縁田有紀	幸福	×								
京都	4	田中英之	自民									
京都	5	井上一徳	希望									
京都	5	中山泰	無所属									
京都	5	山内健	共産	○	○	○						どの世論調査でも再稼働反対はゆるがない多数派です。京都北部は若狭原発群の近接地。住民の安心、安全の対策は「原発を稼働させないこと」が一番。再稼働すれば、見通しがない「核のゴミ」問題を深刻化させ困難が増
京都	5	鈴木麻理子	無所属									
京都	5	本田太郎	自民									
京都	6	山井和則	希望									
京都	6	上條亮一	共産	○	○	○						福島原発事故では、原発事故被害の深刻さを事実で証明しました。いったん過酷事故が発生すれば、住民に甚大な被害がおよび、その解決のために莫大な費用がかかり、コスト面でも原発は他の電力と比べて決して優位ではないことも明らかになりました。原発と人類は共存できません。ただちに「原発ゼロ」を決断し、再稼働を行なわず稼働した原発は停止すべきです。 2030年までに電力の4割の目標で再生可能エネルギーの普及を進めます。日本では2年近く（2013年9月～15年8月）「稼働原発ゼロ」も経験し、日本社会が原発なしでやっていけることが明白になりました。再生可能エネルギーの活用こそ未来をひらきます。 原発立地地域の多くは経済的に原発に依存していますが、そのように誘導した国と電力会社の責任は重大です。成長が期待される再生
京都	6	安藤裕	自民									